

教育保育目標: 『心もからだも健康な子ども』

- 意欲をもって行動する子ども
- 豊かな感性をもった子ども
- 友達と仲良く遊ぶ子ども
- 丈夫で元気な子ども
- 気持ちや考えを伝える子ども

3月からの温かさで、桜の開花も記録的な早さで進み、園舎の周りには色々な桜が花を咲かせていました。

先日、「園舎脇の白い花を咲かせている木は何ですか?」という問い合わせがありました。これまで気にも留めなかった桜の木ですが、図鑑で調べるとシダレソメイヨシノという品種のようでした。園舎周辺ではみんな同じソメイヨシノではなく、河津桜、丁字桜、山桜、上溝桜などたくさんの品種を目にする

ことができます。色々な桜から、「子ども一人ひとり違った花を咲かせるような多様性を大切にしたい幼児教育保育をしなさいね…」と優しく言われているようでした。

気温の高低差が激しく熱や下痢など、体調を崩す子どもたちが増えています。もうしばらく不安定な天候が続きます。体調管理には十分気を付けてください。



【シダレソメイヨシノと思われる桜】

子どもの遊びは空想と想像の連続!
新しいお友達と思ひ思ひの遊びが始まりました



【ティラノサウルスの骨かも?】
園庭に何か固いものが埋まっているのを発見! 気になって掘り始める4歳児。そこへ5歳児のお姉さん、「石だよ!」と。4歳児は「ブツブツがあるから卵かも」「いや、恐竜の骨だよ!」と会話をはずませ5歳児も一緒に掘り出しました。



【「ハンバーガー、いりませんか?」】
明るい声で呼びかけます。お店の中の子はネギを炒めているのだそうです。そういえばさっき小屋を出て草を取って来ていました。ネギだったのですね。ものを何でも変身させ、遊びにしています。



【今からプールのつもりで水遊び】
ステージで積み木を枠にしたプールが完成。いち、に、さん、しと掛け声をかけて準備運動。その後、みんなでこの格好。「泳いでるの!」だそうです。〇〇のつもりは見立て遊びの肝。

新しい子どもたちとこんな思いで関わっていきます

- 《たまご組》
保育者との愛着形成をもとに、心地よい生活の中で生理的欲求を満ち、成長発達の基盤作りを大切にしていきます。
- 《ことり組》
子どもが安心してできる環境を用意し、子どもの「やりたい」が実現できるように、一人ひとりに丁寧に関わっていきます。
- 《ひよこ組》
安心できる環境の中で一人ひとりの子どもがその子らしさを発揮しながら伸び伸びと過ごせるように支援していきます。
- 《あひる組》
① そびを楽しむ
…やりたい遊びの環境作り
② ひとり(自分)でやりたい
…挑戦を見守りサポート
③ んるん友達楽しいな
…友達との関わりの架け橋
~全力で育ちを応援します~
- 《うさぎ組》
子どもの安心感を基盤にして、たくさん「嬉しい、楽しい」を見つけられるよう、子どもも大人もみんなで過ごします。
その中で自ら「探索、探求できること」を大切に、多様な「わくわく」に共感しながら仲間との関わりを深めていきます。
- 《きりん組》
これまで重ねてきた様々な実体験を土台に、自信をもって自分を発揮している子どもたちです。「友達と一緒にこんなこともできるんだ!」を十分味わえるような協同的な活動を大切に、お互いを認め合いながら、さらにキラリと輝く姿へとつなげていきます。
- 《ぱんだ組》
多くの体験を通して気付いたことや感じたことを伝えようとする意欲を育み、伝え合うことを大事にしています。友達の思いや素敵などころに気付いたり共通の目的に向かって考え、工夫し、協力し合ったりしながら友達と過ごす楽しさや喜びをたくさん味わえるように援助していきます。



5月の予定

- 3日(水) 祝 憲法記念日
- 4日(木) 祝 みどりの日
- 5日(金) 祝 こどもの日
- 6日(土) 希望保育
- 11日(木) 内科健診
- 12日(金) 歯科検診
- 13日(土) 希望保育
- 19日(金) えいごであそぼう 食育の日
- 20日(土) 希望保育

- 24日(水) 保育参観
- 25日(木) 保育参観 避難訓練
- 26日(金) 保育参観 園だより配布 布団・靴持ち帰り
- 27日(土) 希望保育
- 31日(水) えいごであそぼう 各種たより配布

※毎週木曜日にはこぼの相談会があります

お知らせとお願い

【保育参観 祖父母の方もお待ちしております】

日時:5月 24日(水)~26日(金)

参観は 登園~12:00頃

- 都合がつく時間に参観ください。
- 一緒に活動していただいてもかまいません。
- 参観後、お子様と一緒に帰っていただくことも可能です。



新しいクラスで、友達にも慣れ、生活している子どもたちの様子を是非ご覧ください。

祖父母の方もよろしかったらお孫さんの成長をご覧ください。

【コロナ感染防止にご協力願います】

コロナ感染症への対応が見直されますが、まだ感染される方がたくさんいます。引き続き保護者の皆様からのご協力をお願いします。

- ① お子様の体調をよく観て登園させてください。
- ② 園への報告をお願いします。
○ 園児が陽性と判定された場合。
○ 園児が陽性者と接触があった場合。
- ③ 職員はもうしばらくマスクを着けて保育にあたります。

《誕生会のもち方を変えてみました》

私たちの生活の中には、嬉しかった出来事を心に刻むため、その日を〇〇記念日にしてまた新たな気持ちで過ごしていこうという日があります。子どもにとって最も身近なものが誕生日ではないでしょうか。その日をもっと大切に意識付けたい思いから、その月に生まれた子どもたちを一斉に祝福していた誕生会を見直し、その子が生まれた誕生日(休日の際は前日)に祝福することにしました。

これまでの月に一回、生まれ月の子をお祝いする行事も良かったのですが、ややもするとイベント型になりやすい傾向がありました。その子が生まれてきたことをその日にみんなで祝いし、命の大切さや感謝の気持ちを育みたいと思っています。

お祝いに『お誕生日の本』をプレゼントします。



あひる組の入り口には…

ほいくの窓

特別支援(UDL)の視点で動きやすく

新学期。新しい環境で、すぐに動ける子もなかなか動けない子も、どの子も動きやすい工夫をすることで、ストレスを軽減することができます。園では、使った玩具を片付けやすいように写真や絵等の表示をしたり、3歳児のトイレには手作りの踏み台を置いたり、ホールの入口には今、何組が使っているかが一目でわかるクラスマークと、今はホールは使えません、という意味の「おやすみちゃん」マークを設置したりしています。これらはUDL(ユニバーサルデザイン)に基づいた支援の一つです。

【 ↓ 分かりやすい表示の工夫例 】



あった所に片付けます



足が床に着くと安心です



今はホールおやすみです



今はきりん組が遊ぶ番です

特別支援やUDLと聞くと、「何か特別なことをするのか?」「障がいがある人や子に対してする支援のことかな?」と考える方もいらっしゃると思います。しかし、年齢や障がいのあるなしにかかわらず、できる限りすべての人がわかりやすく、使いやすくしてあげることがUDLの考え方です。

「ほいくの窓」の執筆は、特別支援部の職員が順番に担当し、特別支援(UDL)の視点から、お家の方と一緒に子どもたちの成長を喜び合い、子育てがもっと楽しくなるヒントになるような内容を毎月発信していきます。また、お子さんのことで少しでも不安に思うことや心配なこと、お困りのことがありましたら、いつでも担任や特別支援担当の職員にご相談ください。お子さんの健やかな成長を願いながら、一緒に考えていきましょう。

今年度も「ほいくの窓」をよろしく願います。